

**【ICT CONNECT21】次期学習指導要領を見据え、「多様な学び」の社会実装を加速
不登校支援や個別最適な学びを推進する「多様な学び SIG」を設立
キックオフイベントとして「多様な学びカンファレンス 2026」を8月30日開催
～自治体・企業・現場が連携し、認知特性や個性に応じた学びの環境づくりを目指す～**

一般社団法人 ICT CONNECT21（会長：山西 潤一）は、この度、不登校支援や多様な学びの保障を社会的な潮流として位置づけるための新組織「多様な学び SIG（Special Interest Group）」を設立いたしました。本組織のキックオフイベントとして、2026年8月30日（日）、東京大学 伊藤謝恩ホールにて「多様な学びカンファレンス 2026」を開催いたします。

ICT CONNECT21

多様な学び カンファレンス 2026

学びのOSを、アップデートしよう。
実践・テクノロジー・研究の融合で
多様性を前提とした教育基盤を共創する

鈴木 寛
東京大学教授

石戸 奈々子
慶應義塾大学教授

塩瀬 隆之
京都大学
総合博物館教授

今村 久美
認定NPO法人
カタリバ代表理事

岩瀬大輔
(株)ベネッセ
コーポレーション
代表取締役社長

2026年8月30日（日）13:30～17:30
東京大学 伊藤謝恩ホール

主催：一般社団法人 ICT CONNECT21 多様な学びSIG
後援：文部科学省
参加費：無料（事前申込制）、オンライン配信あり

■ 開催の背景と目的

GIGA スクール構想の推進により1人1台端末環境が定着する中、次期学習指導要領を見据え、子ども一人ひとりの認知特性や個性に合わせた学びの重要性が高まっています。しかし、不登校児童生徒の増加や、学校外の学習機会との連携不足など、子どもを取り巻く環境には依然として多くの課題が存在しています。こうした背景から、ICT CONNECT21 では、公教育・私学・地域・企業・支援団体など多様な主体が連携し、「多様な学び」の実現に向けた実践知の共有と社会実装・ネットワーク形成を推進するプラットフォームとして「多様な学び SIG」を設立しました。

本カンファレンスは、その活動のキックオフとして開催するものであり、「誰ひとり取り残さない学びと育ちの機会の社会実装」に向けた共創の場を目指します。

■ 「多様な学びカンファレンス 2026」開催概要

本カンファレンスは、官民の垣根を越え、公教育・私学・地域・産業界・家庭などが横断的に集結し、それぞれの現場が持つ「実践知」を共有し、高め合うための共創の場として位置付けています。「多様な学び」を単なる理想論で終わらせず、具体的な社会実装へとつなげるための議論を行うとともに、展示ブースを併設し、自治体・企業・各種支援団体の課題マッチングを促進。明日からの教育・育ちの現場に役立つ連携のきっかけを提供します。

「多様な学びカンファレンス 2026」開催概要

イベント名	多様な学びカンファレンス 2026
主催	一般社団法人 ICT CONNECT21 多様な学び SIG
後援	文部科学省
日時	2026年8月30日(日) 13:30~17:30
会場	東京大学 伊藤謝恩ホール(東京都文京区本郷7-3-1) ※オンライン配信あり
参加費	無料(事前申込制)
特設サイト	https://ictconnect21.jp/flourish_conference2026/
プログラム(予定)	13:30~13:40 開会挨拶 山西 潤一(一般社団法人 ICT CONNECT21 会長) 13:40~14:10 基調講演 「次期学習指導要領と『多様な学び・認知特性』への着目」 登壇者:鈴木 寛(東京大学教授、慶應義塾大学特任教授) 14:10~17:20 パネルディスカッション テーマ①:誰ひとり取り残さない不登校支援の社会実装 ファシリテーター:今村久美(認定NPO 法人カタリバ 代表理事) パネリスト:稲垣 一郎(神奈川県葉山町教育長) 瀬川知孝 (カタリバ オンライン・子ども家庭支援ドメインディレクター) テーマ②:多様なニーズのある子どもたちの学ぶ機会を保障する取り組み ファシリテーター:秋元 智行 (株式会社 LITALICO 公共DX 事業部 教育ソフト部部長) パネリスト:石戸 奈々子(慶應義塾大学教授) 永塚 健(LITALICO ジュニア スーパーバイザー) テーマ③:~デジタル・テクノロジーの活用~ 自律的な自己調整力を育む不登校支援 ファシリテーター:岩瀬大輔 (株式会社ベネッセコーポレーション 代表取締役社長) パネリスト:上木原 孝伸(ベネッセ高等学院 学院長) 塩瀬 隆之(京都大学総合博物館教授) ※各テーマのその他の登壇者は決定次第、公式サイト等にて順次発表いたします。 17:20~17:30 閉会挨拶・来賓挨拶 18:00~ 意見交換会 ※関係者限定

■【併設イベント】展示ブース交流・ミニプレゼンテーション

会場内の多目的スペースでは、自治体、学校、フリースクール、教育関連企業、支援団体などによる展示ブースおよびミニプレゼンテーションを実施します。本企画は、「多様な学び SIG」が目指す、多様な主体による実践知の共有とネットワーク形成を促進する場として開催するものです。参加者同士がそれぞれの取り組みや課題を共有し、新たな連携や共創のきっかけを創出することを目指します。

開設時間：13:00～18:00 頃（※プログラムや閉会後のイベントに合わせて開設）

- ・ 【開会前】13:00～13:30（先行開設）
- ・ 【本編中】プログラムの休憩時間中
- ・ 【閉会后】17:30～18:00（本編終了後の交流タイム）

■参加申し込み

参加をご希望の方は、以下のフォームより参加登録をお願いいたします。

- ・ 申込フォーム URL：<https://pro.form-mailer.jp/fms/b0a240dc353283>
- ・ 申込期限：2026年8月30日（日）12:00（正午）

■主催者メッセージ

一般社団法人 ICT CONNECT21 多様な学び SIG リーダー（ベネッセコーポレーション） 城座 多紀子

子どもたちがどこで育ち、どんな特性を持っていても、自らの可能性を広げ、豊かに学び育っていきける社会へ。今、さまざまな勢いで進化するテクノロジーを教育にどう組み込むかという挑戦と、地域に根差した多様な担い手が「実践知」を活かし合う協働が求められています。この時代の転換期に、熱い想いを持つ官民のキーパーソンが一堂に会する場を企画しました。地域の教育課題に根差した、真に意味ある解決の道筋を共に創り出したい。一人ひとりの子どもたちの笑顔のために、ここから新しい教育の姿を共に形にしていきたいと思います。

【登壇者プロフィール】

■鈴木 寛（すずき かん）氏 / 東京大学教授、慶應義塾大学特任教授、社会創発塾塾長



通商産業省を経て慶應義塾大学助教授に就任。その後、参議院議員を12年間務め、文部科学副大臣を2期、文部科学大臣補佐官を4期歴任。長年にわたり日本の教育改革、医療、科学技術政策の牽引役として尽力している。

■今村 久美（いまむら くみ）氏 / 認定 NPO 法人カタリバ代表理事、公益社団法人ハタチ基金代表理事



慶應義塾大学在学中の2001年にカタリバを設立。育った環境に関わらず、すべての子どもが意欲と創造性を手にできる社会を目指し、不登校児童生徒の居場所・学習支援やルールメイキングなど、時代に即した教育実践を全国で展開。文部科学省・中央教育審議会委員。

■稲垣 一郎（いながき いちろう）氏 / 神奈川県葉山町教育長



早稲田大学卒業後、神奈川県立高校の教諭（国語科）となり、特別支援学校、神奈川県教育局総務室 ICT 推進担当課長、通信制高校・工業高校管理職、湘南高等学校校長などを経て、2021 年 4 月より現職。不登校支援やインクルーシブ教育を推進。

■石戸 奈々子（いしど ななこ）氏 / 慶應義塾大学教授 博士（政策・メディア）



東京大学工学部卒業後、マサチューセッツ工科大学メディアラボ客員研究員を経て、NPO 法人 CANVAS、一般社団法人超教育協会等を設立。デジタル技術を活用した次世代の学びや、多様性を包摂するニューロダイバーシティ社会の実現に向け活動している。

■岩瀬 大輔（いわせ だいすけ）氏 / 株式会社ベネッセコーポレーション 代表取締役社長



ボストンコンサルティンググループ、ハーバード・ビジネス・スクール（MBA 取得）などを経て、2006 年にライフネット生命保険を立ち上げ、代表取締役社長・取締役会長、また、アジア最大の生命保険会社である AIA Group（香港）のデジタル担当役員、web3 大手企業である Animoca Brands 日本法人社長なども歴任。2024 年からカカコム社外取締役、2025 年からベネッセコーポレーション社長を務める。

■塩瀬 隆之（しおせ たかゆき）氏 / 京都大学総合博物館教授



文部科学省・中央教育審議会「高等学校教育の在り方ワーキンググループ」委員などを歴任。学びの多様化学校（不登校特例校）である岐阜市立草潤中学校などの設置・運営アドバイザーを務め、インクルーシブな学びの環境づくりに深く携わる。

※その他、文部科学省等の関係府省庁、および全国の自治体教育長、教育関連企業、先進的な不登校支援団体などのキーパーソンが多数登壇予定。確定次第、順次発表いたします。

■ICT CONNECT21 について

ICT CONNECT 21 は、情報通信技術を活用して教育をより良くして行こうという意味を持つさまざまなステークホルダーが集まるオープンな場を提供するとともに、格差なく誰でもいつでもどこでも生涯を通じて学べる学習環境作りに取り組み、教育の情報化の一層の進展に寄与し、社会の発展に貢献することを目的としています。

URL : <https://ictconnect21.jp/>

本件のお問い合わせ先

ICT CONNECT21 多様な学び SIG 事務局（広報担当：古川）

Email : info@ictconnect21.jp